

製糸で栄えた須坂

結婚12年「絹婚式」を祝福

須坂市観光協会は秋分の日(9月23日)、同市野辺の須坂アートパークで、「絹の里・須坂で絹婚式」と銘打ったイベントを初めて開く。結婚から12年の記念日が「絹婚式」と呼ばれることから、かつて製糸業で繁栄した須坂の歴史にちなんで企画。同パークが「恋人の聖地」に認定されたことを記念するミニメントの前で結婚12年を迎えたカップルを祝福し、思い出作りを応援する。参加者を募集している。

「恋人の聖地」須坂アートパーク

来月23日にイベント

2001年に結婚した夫婦が対象で、午前11時～正午に開く。同協会からお祝いの言葉と記念品を贈り、記念写真の撮影や須坂の特産品などが当たる抽選会もある。記念品には絹製品を予定している。参加カップルには事前に相手へのメッセージを用意してもらい、式で交換して盛り上げる。

2001年に結婚した夫婦が対象で、午前11時～正午に開く。同協会からお祝いの言葉と記念品を贈り、記念写真の撮影や須坂の特産品などが当たる抽選会もある。記念品には絹製品を予定している。参加カップルには事前に相手へのメッセージを用意してもらい、式で交換して盛り上げる。

美術館や博物館が集まる同パークは10年、プロポーズやデートに

開いた本の形をした台座の上に直径約1・3サイズのリングが置かれ、日が当たると台座にハートマークの影が浮かび上がる。正午前後に見ることができ、特に春分の日と秋分の日にも最も美しい形になるという。

同協会は「須坂を思い出の地にして、また訪れてもらえるようにしたい」とし、来年以降も開く計画だ。

参加無料。申込締め切りは9月13日。問い合わせは同協会(☎026・215・2225)へ。



日が当たると台座にハートマークが浮かび上がるミニメント。初開催のイベントでは、この前で絹婚式を祝う